

**OXIDE**

株式会社オキサイド

**2023年2月期 決算補足説明資料**

(6521 東証グロース)

2023年4月14日

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

2023年2月期決算についてご説明いたします。

# 目次

## 2023年2月期 決算

- 業績および財務数値
- 事業別説明
- 計画に対する実績
- トピックス

## 2024年2月期 予想

- 業績予想 (単体)
- 業績予想 (連結)
- 中期経営計画 (連結)
- 事業別売上高予想 (連結)
- その他の計画 (連結)

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。  
本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。  
実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。  
当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。  
本資料に記載された金額は表示単位未満を切り捨て処理、比率は表示単位未満を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

2

まずはじめに、2023年2月期の決算概要をご説明させていただきます。

その後、2024年2月期の予想についてご説明いたします。

## 業績および通期予想達成率

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 売上高は6期連続増収、経常利益は5期連続増益となり、いずれも過去最高となりました。

(単位：百万円)

	22/2期	23/2期				23/2期	前期比	前回予想 (1/13公表)	達成率
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	4,756	1,419	1,541	1,459	1,331	5,752	+20.9%	5,870	98.0%
売上総利益	1,630	703	638	460	476	2,279	+39.8%	2,210	103.1%
販管費	1,033	378	418	507	438	1,742	+68.6%	1,692	103.0%
うち研究開発費	315	134	182	202	155	675	+114.2%	682	99.0%
営業利益	596	324	220	△46	38	537	△10.0%	516	104.1%
営業外損益	2	28	12	△3	109	150	+6731.8%	34	443.6%
経常利益	598	353	233	0	147	687	+14.8%	550	125.1%
減価償却費合計	269	74	86	93	100	356	+32.2%	371	96.1%

それでは、業績および通期予想達成率についてご説明いたします。

売上高は、前期比プラス20.9%の57億5,200万円、  
 営業利益は、前期比マイナス10%の5億3,700万円、  
 経常利益は、前期比プラス14.8%の6億8,700万円となりました。

売上高は6期連続増収、経常利益は5期連続増益となり、いずれも過去最高となりました。

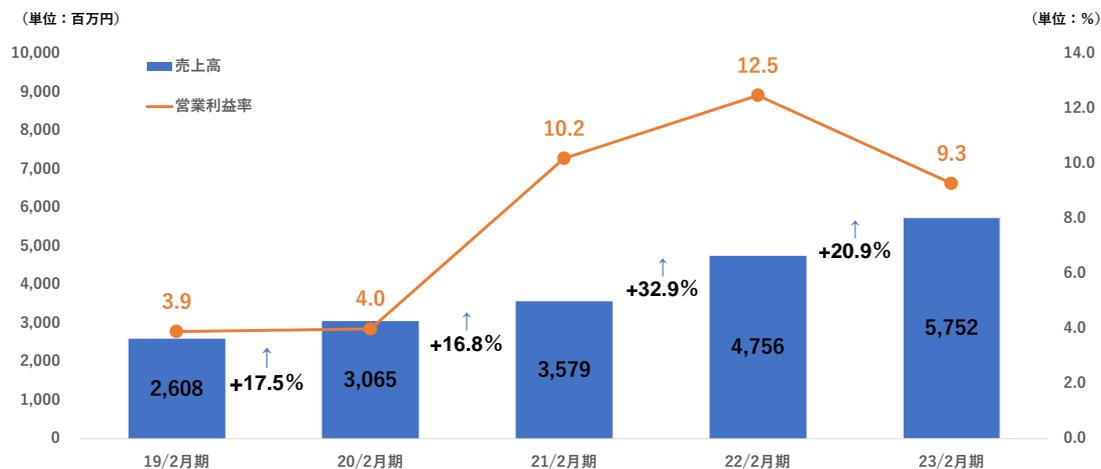
## 業績の推移（2019年2月期～2023年2月期）

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 売上高成長率20.9%、営業利益率9.3%となりました。



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

4

次に、業績の推移と経営指標に対する結果についてご説明いたします。

当社は、売上高成長率20%、営業利益率10%を経営指標に掲げております。

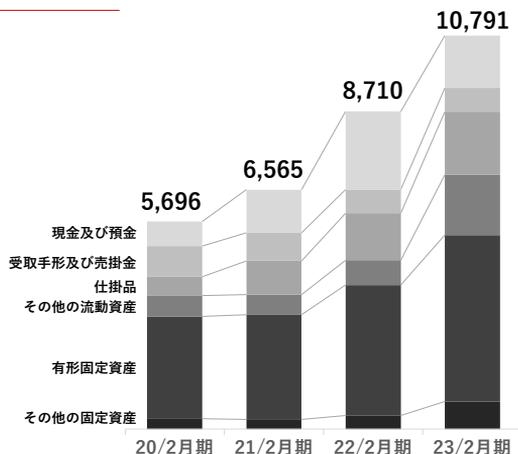
2023年2月期の売上高成長率は20%を達成し、営業利益率は0.7%未達となりました。

# 貸借対照表

■ 総資産は20億8,100万円増加しております。

(単位：百万円)

## 資 産



## 負債・純資産



続きまして、貸借対照表について、ご説明いたします。

総資産は、  
2022年2月期末の87億1,000万円から2023年2月期末では107億9,100万円となり、  
20億8,100万円増加しております。

増加分の内訳は、  
仕掛品が4億3,600万円、  
固定資産が13億6,900万円、  
その他資産が2億7,600万円となります。

負債増加14億4,000万円と純資産の増加6億4,100万円バランスしております。

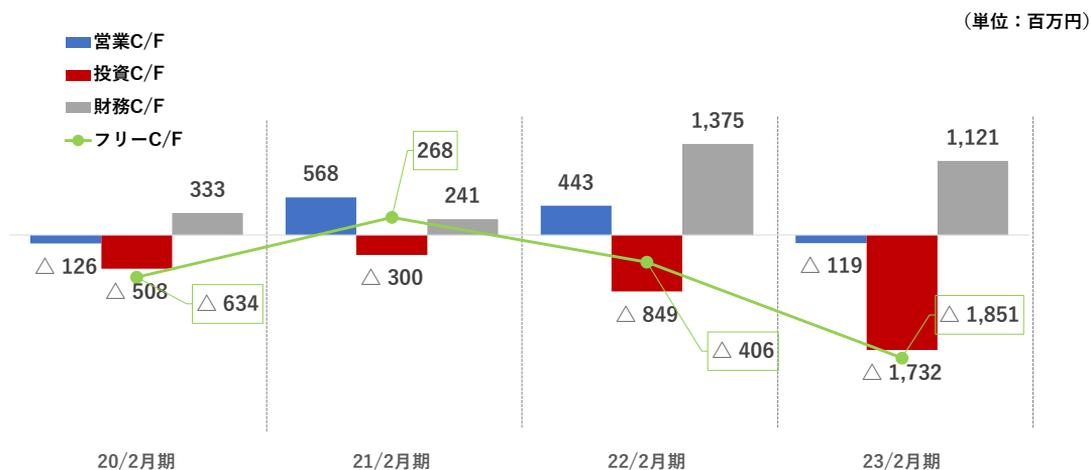
## キャッシュフロー

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 営業CFと投資CFのマイナスを賅うため、財務CFをプラスとしました。



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

6

次に、キャッシュフローについてご説明いたします。

営業キャッシュフローは、  
増産向けの棚卸資産の増加で1億1,900万円のマイナスとなりました。

投資キャッシュフローは、  
第4および第5工場建設の設備投資実績に加え、  
投融資により17億3,200万円のマイナスとなりました。

財務キャッシュフローは、  
設備資金を中心とした借入金の増加により11億2,100万円のプラスとなりました。

フリーキャッシュフローは、  
18億5,100万円のマイナスとなりました。

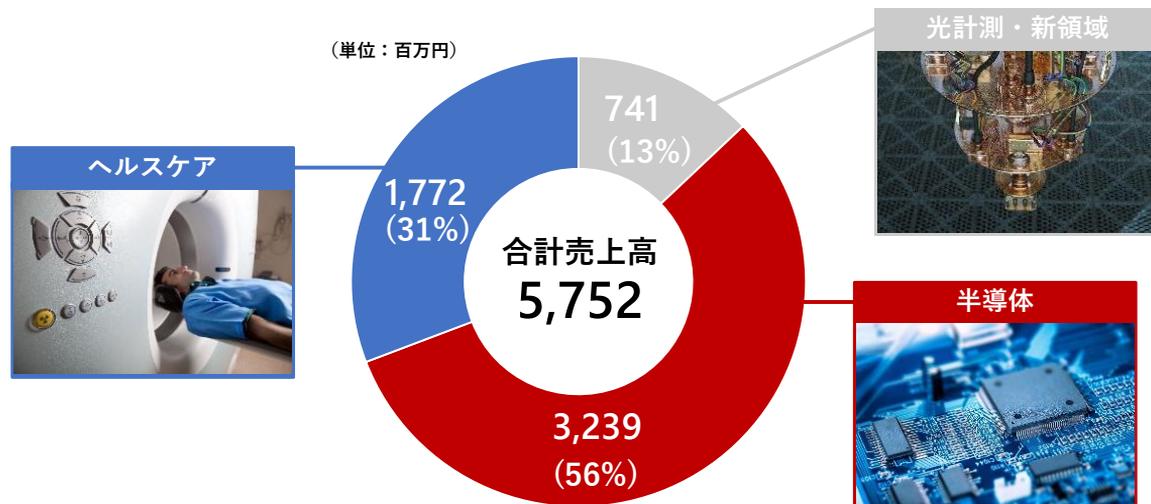
続きまして、事業別の業績や業界動向についてご説明いたします。

## 事業別売上高構成

OXIDE

2023年2月期 決算 / 2024年2月期 予想

■ 半導体事業が56%を占めることとなりました。



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

7

まず、事業別売上高構成についてご説明いたします。

2023年2月期累計売上高の構成比率は、  
半導体事業が56%、  
ヘルスケア事業が31%、  
光計測・新領域事業が13%、  
となりました。

市場の成長やシェアアップの著しい半導体事業の構成比率が前期に比べて5%程度上昇しております。

## 【半導体】

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

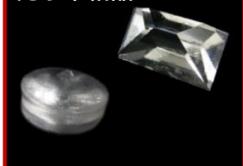
■ 前期比+31.4%となり、増収に大きく寄与しました。

(単位：百万円)

	22/2期	23/2期				23/2期	前期比	前回予想 達成率	前回予想
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	2,465	692	952	707	886	3,239	+31.4%	101.8%	3,181

半導体ウエハ欠陥  
検査装置に用いる 当社の製品群

光学単結晶



紫外レーザー



イメージ写真：  
半導体ウエハ欠陥検査装置

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

8

続いて、半導体事業についてご説明いたします。

昨今、世界的に半導体市況は悪化しております。

しかしながら、最先端の半導体工場建設と微細化の動きにより、当社レーザー装置の売上は今期も好調を維持することができました。

売上高は前期比プラス31.4%の32億3,900万円となり、当社全体の増収に大きく寄与しました。

第3四半期決算発表時にお伝えした一部部材の合格率は、現在、問題発生前の水準に戻りつつあります。

この教訓を活かし、サプライチェーンの強化を進めています。

## 【半導体】半導体事業の売上高推移

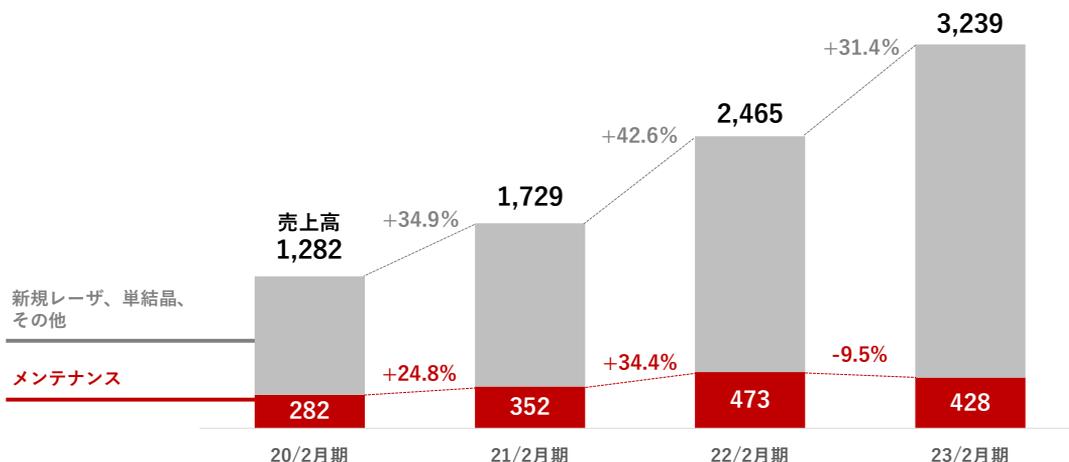
OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 新規レーザの旺盛な需要により前期比+31.4%の増収となりました。

(単位：百万円)



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

9

次に、半導体事業の売上高推移についてご説明いたします。

半導体事業全体では新規レーザの旺盛な需要により前期比31.4%の増収となり、過年度3期において30%以上の伸びとなっております。

この内、レーザ装置のメンテナンス売上高は、新規レーザ製造を優先した結果、前期比マイナス9.5%となりました。

レーザ装置は2021年2月期に量産化しましたので、メンテナンス需要は今期から本格的な増加が見込まれます。

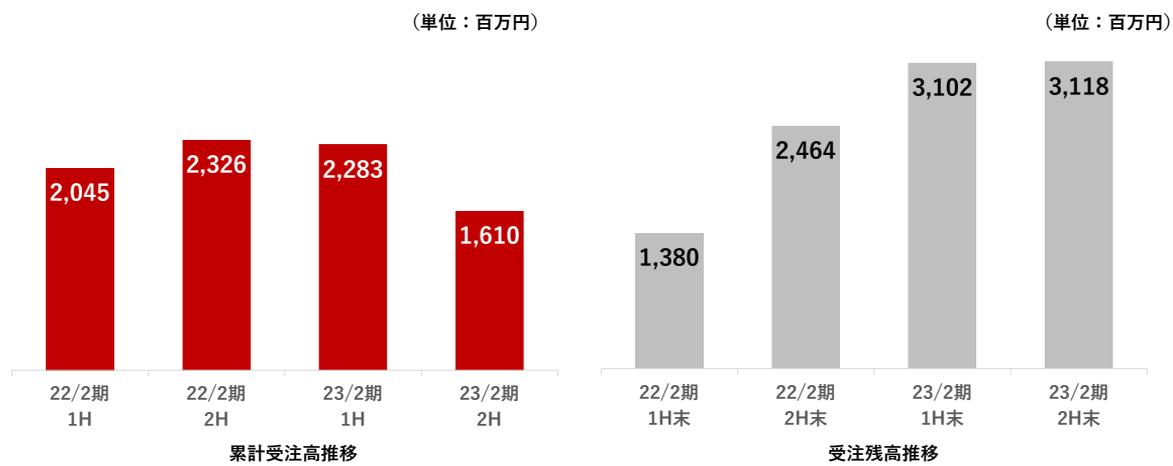
## 【半導体】受注高と受注残高

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 調達部品の合格率は回復基調にあります。問題解決に注力するため一時的に受注を調整しました。



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

10

次に、半導体事業における受注高および受注残高についてご説明いたします。

2023年2月期の受注高は、

上半期22億8,300万円に対して、下半期16億1,000万円と減少しました。

この理由は、一部調達部品の問題解決に注力するため新規受注を一時的に調整した為です。現状は調整せずに受注しております。

また、期末における受注残高は、

31億1,800万円で上半期末と比較し増加しました。

つづきまして、ヘルスケア事業についてご説明いたします。

## 【ヘルスケア】

OXIDE

2023年2月期 決算

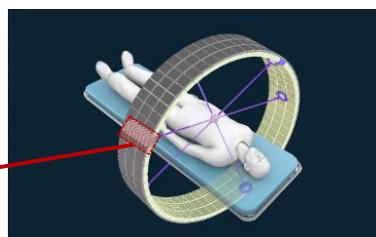
2024年2月期 予想

■ 3Qは過去最高の売上高となった一方、4Qは顧客の在庫生産調整のため売上が低調に推移しました。

(単位：百万円)

	22/2期	23/2期				23/2期	前期比	前回予想 達成率	前回予想
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	1,711	490	467	598	216	1,772	+3.5%	90.9%	1,950

PET検査装置に用いる  
当社の製品



PET検査装置のしくみ

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

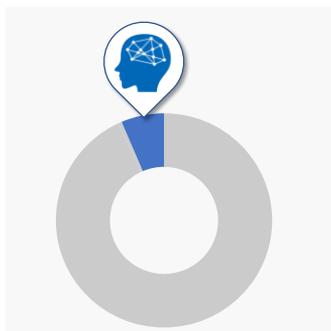
11

ヘルスケア事業におきましては、第3四半期の売上高は過去最高となりました。

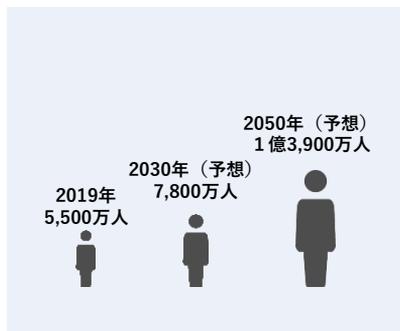
一方、第4四半期の売上高は顧客の在庫生産調整のため低調に推移しました。

その結果、売上高は前期比プラス3.5%の17億7,200万円となりました。

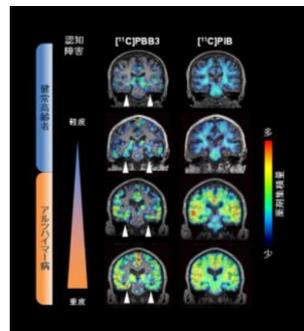
■ 23/2月期より、頭部PET用シンチレータ単結晶の売上が立ちはじめました。



23/2月期ヘルスケア事業における  
頭部PET用シンチレータ単結晶の売上比率



アルツハイマー型認知症人口 (全世界)  
出所:WHO fact sheets on 20 September 2022



アルツハイマー型認知症の発症と進行に伴う  
PET薬剤集積量の変化

出所：量子科学技術研究開発機構プレスリリース

ヘルスケア市場については、頭部PET装置市場の進展に期待をしております。

エーザイとバイオジェンが共同開発しましたアルツハイマー型認知症の治療薬は1月6日に米国当局より承認されました。また、欧州、日本でも新薬承認を申請しております。

治療薬の普及と共に頭部PET検査装置が必要となります。2023年2月期は国内外の研究機関への売上実績も出てきており更なる増収が期待されます。

## 【光計測・新領域】

OXIDE

2023年2月期 決算 / 2024年2月期 予想

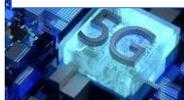
■ 研究機関向けスポット売上が寄与し前期比+27.9%となりました。

(単位：百万円)

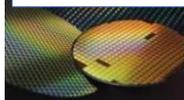
	22/2期					23/2期	前期比	前回予想 達成率	前回予想
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	579	236	123	153	228	741	+27.9%	100.3%	739

グローバルニッチ  
マーケット

5G  
(アイソレータ単結晶)



半導体検査装置  
(CW/QCW 213nmレーザ)



放射能汚染モニタ  
(GPS単結晶)



医療用ボタン電池  
(単結晶固体電池材料)



競争優位性が  
期待できる  
マスマーケット

MicroLED  
(フェムト秒レーザ)



フォトマスク  
(描画用レーザ)



レーザ照明  
(蛍光体単結晶・デバイス)



パワー半導体  
(SiC単結晶/GaN基板用単結晶)



光計測・新領域事業におきましては、当社の強みを活かしたソリューションの提供と新しいビジネスの創出を進めています。

2023年2月期は、研究機関向けスポット売上が寄与し、前期比プラス27.9%の7億4,100万円の売上高となりました。

次に人員、研究開発費、設備投資費の実績についてご説明いたします。

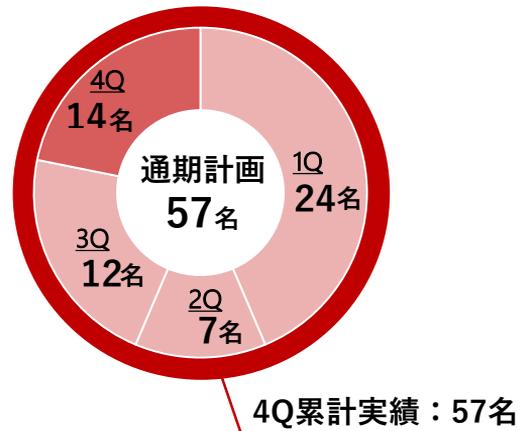
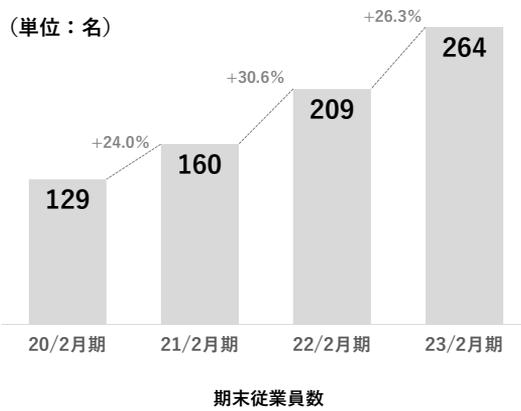
## 計画に対する実績【人員】

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 計画どおりの採用となり、主に半導体事業に配置しました。



まず、人員でございますが、計画通りの採用が進み、主に半導体事業に配置しました。

期末の従業員数は、  
2022年2月期と比べて、プラス26.3%の264名になりました。

## 計画に対する実績【研究開発費】

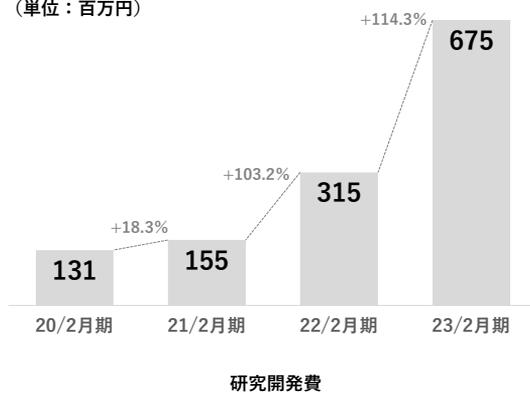
OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 2022年2月期比+114.3%の6億7,500万円を投入し、主にパワー半導体関連の研究開発を強化しました。

(単位：百万円)



次に、研究開発費でございますが、  
2022年2月期と比べて、プラス114.3%の6億7,500万円を投入いたしました。

今後の成長が期待されるパワー半導体関連の研究開発に注力しております。

## 計画に対する実績【設備投資費】

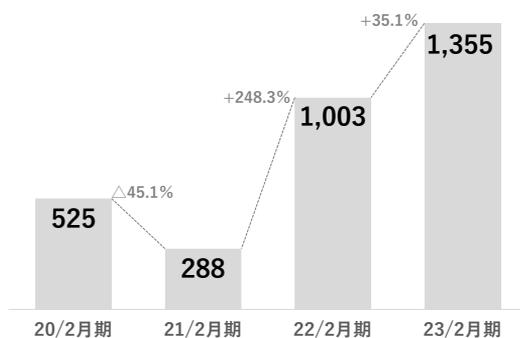
OXIDE

2023年2月期 決算

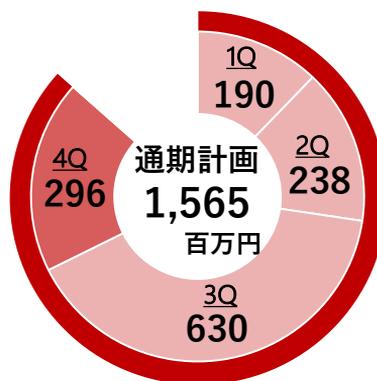
2024年2月期 予想

■ 2022年2月期比+35.1%の13億5,500万円を投入いたしました。

(単位：百万円)



設備投資費



4Q累計実績：1,355

次に、設備投資費でございますが、  
2022年2月期と比べて、プラス35.1%の13億5,500万円を投入いたしました。

計画との差額分の2億1,000万円が2024年2月期の計上となります。

2022年	5月	LQUOM 株式会社との資本業務提携 第22回定時株主総会
	8月	組織変更（量子・通信センター、新事業推進室の新設）
	9月	LQUOM 株式会社・横浜国立大学と共に「大学発ベンチャー表彰」でアーリーエッジ賞受賞
	10月	第3回 量子コンピューティングEXPOに出展 日本結晶成長学会技術賞受賞
	11月	インフレに対応した従業員の賃上げ実施について決定
	12月	株式分割について取締役会決議 第9回「ものづくり日本大賞」優秀賞受賞
2023年	1月	Raicol Crystals Ltd.の株式取得（子会社化）について合意 ★ LQUOM 株式会社への追加出資決定 Photonics Westに出展
	2月	HTCS社への出資 Raicol Crystals Ltd.の子会社化が完了
	3月	NIMS(国立研究開発法人物質・材料研究機構)とスタートアップ支援に向けて連携 ★ 第4工場、第5工場の竣工 ★

次に、トピックスについてご説明いたします。

## Raicol Crystals Ltd.子会社化について

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想



今後も結晶と光の技術で世の中を幸せにするべく、  
Raicol Crystals Ltd.と共に光学分野における  
グローバル・リーディング・カンパニーを目指してまいります。

オキサイド CEO  
古川 保典

Raicol Crystals CEO  
Aner Yarden



**We always keep moving forward, and  
never lose the mission to make the world  
a better place.**

3月1日にイスラエルのライコル社を100%子会社化いたしました。

ライコル社と共にこのような目標を掲げて、取り組んでまいります。

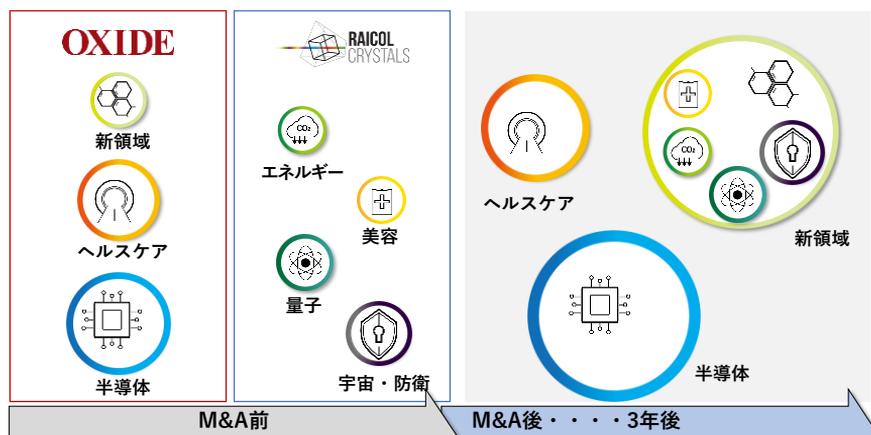
## 事業分野の拡張と成長

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

- 「宇宙・防衛」「美容」「エネルギー」分野を新たに追加し、「量子」分野を強化します。



ライコル社の子会社化により、宇宙・防衛、美容、エネルギーの事業分野を新たに追加し、量子分野を強化してまいります。

当社の強みとライコル社の強みを融合させることにより、光学分野におけるグローバル・リーディング・カンパニーを目指します。

## ■ 事業拡大を推進する第4、第5工場が3月末に竣工しました。



2023年3月31日付当社プレスリリース

第4工場



用途：レーザ装置のメンテナンス業務

第5工場



用途：SiC単結晶の量産技術開発

事業拡大を推進する第4、第5工場が3月末に竣工いたしました。

第4工場は半導体事業におけるメンテナンス需要に対応するための量産工場、第5工場はパワー半導体SiCの量産技術を開発するための工場となります。

## ■ 物質・材料研究機構(NIMS) 発スタートアップに経営ノウハウを還元し、研究成果の社会実装を支援します。

**オキサイドとNIMS、スタートアップ支援に向けて連携覚書を締結**

株式会社オキサイド(本社:山形県北村市沢田町地番 1747 番地 | 代表取締役社長 佐川保典) 以下「オキサイド」)と国立研究開発法人物質・材料研究機構(所在地:茨城県つくば市千代 1-0-1 理事長 室野利博) 以下「NIMS」)は、スタートアップ支援に向けた連携覚書を締結しましたのでお知らせします。

**OXIDE** **NIMS**

オキサイドとNIMSは、これまで、NIMS 発スタートアップに対する経営相談や、スタートアップ支援制度への助言などを NIMS がオキサイドから受けるという協力関係にありましたが、今回、両社でオキサイドの NIMS スタートアップ支援の覚書を正式に締結することになりました。今後、NIMS が持つ技術の社会実装をより加速させることを目指し、オキサイドは NIMS のスタートアップ支援の推進から両社協働による経営サポートを積極的に行っていきます。

オキサイドは、自身も NIMS 発のベンチャー企業であり、スタートアップ分野におけるスタートアップ固有の経営ノウハウを蓄積したスタートアップに還元することは社会貢献としての重要な役割と認識しております。今回の連携により日本の基礎研究をベースにしたスタートアップが更に活躍し、テクノロジーを通して様々な社会課題を解決する一助になればと考えております。

また、NIMSは、物質や材料科学の基礎研究、基礎的産業技術に特化した国立研究開発法人であり、材料科学分野では世界トップレベルの研究成果を創出しています。NIMS の研究成果からは、オキサイドを含めたこれまでのベンチャーが創業されましたが、我が国の素材・化学産業の更なる発展を支えるべく、より一層の優れたスタートアップの創出とそのための実装強化が求められています。

今回の連携により NIMS 発のベンチャーであるオキサイドの連携の枠を超えた新たな経営の経験、ノウハウを新たなスタートアップに取込むことで、新材料・新技術の社会実装を強力に後押しするだけでなく、素材・化学分野での新産業創出を推進してまいります。

2023年3月24日付当社プレスリリース



当社は、物質・材料研究機構との間で覚書を締結しました。

これまでに培ってきたディープテック分野の経営ノウハウを還元することで、研究成果の社会実装を支援してまいります。

# 目次

## 2023年2月期 決算

- 業績および財務数値
- 事業別説明
- 計画に対する実績
- トピックス

## 2024年2月期 予想

- 業績予想 (単体)
- 業績予想 (連結)
- 中期経営計画 (連結)
- 事業別売上高予想 (連結)
- その他の計画 (連結)

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。  
本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。  
実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。  
当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。  
本資料に記載された金額は表示単位未満を切り捨て処理、比率は表示単位未満を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

22

続きまして、今期2024年2月期の業績予想について説明いたします。

## 2024年2月期 業績予想（単体）

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 売上高+26.8%、営業利益+26.8%、経常利益+37.4%を見込んでおります。

（単位：百万円）

	23/2期	24/2期				前期比	
		1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	5,752	1,315	1,718	2,011	2,250	7,294	+26.8%
売上総利益	2,279	368	650	788	971	2,777	+21.8%
販管費	1,742	582	506	518	490	2,095	+20.3%
うち研究開発費	675	243	196	205	170	813	+20.5%
営業利益	537	△214	144	270	481	681	+26.8%
営業外損益	150	85	△9	176	11	263	+74.9%
経常利益	687	△129	135	446	492	945	+37.4%
減価償却費合計	356	107	122	139	147	514	+44.3%

まず単体の業績予想について説明いたします。

売上高は前期比プラス26.8%の72億9,400万円、  
営業利益は前期比プラス26.8%の6億8,100万円、  
経常利益は前期比プラス37.4%の9億4,500万円を見込んでおります。

今期予想は下半期偏重となり、半導体事業の横浜製造拠点の増床と第4工場の稼働により、売上が拡大する予定です。

## 2024年2月期 業績予想（連結）

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 2QよりRaicol社のPLが連結されます。営業利益は下半期偏重となります。

（単位：百万円）

					24/2期 (連結)	参考: 23/2期 (単体)
	1Q (単体)	2Q (連結)	3Q (連結)	4Q (連結)		
売上高	1,315	2,183	2,527	2,745	8,773	5,752
売上総利益	385	890	1,053	1,222	3,554	2,279
販管費	576	655	693	679	2,603	1,742
うち研究開発費	242	256	289	252	1,039	675
連結に伴う追加費用 <sup>(※)</sup>	38	145	145	147	476	—
営業利益	△229	90	215	395	471	537
営業外損益	68	△34	158	△11	181	150
経常利益	△161	56	373	384	652	687

1米ドル=130円、1新シェケル=37.7円で算出しております。

※連結に伴う追加費用は、のれん償却費(206百万円)、株式報酬費用(158百万円)、PMI関連費用(68百万円)、会計基準差異(43百万円)となります。

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

24

続きまして、連結業績予想を説明いたします。

売上高は87億7,300万円、  
営業利益は4億7,100万円、  
経常利益は6億5,200万円を見込んでおります。

第2四半期よりライコル社の損益計算書が連結されます。

連結に伴う追加費用として、今期に4億7,600万円を計上しております。

内訳は、  
のれん償却費2億600万円、  
株式報酬費用1億5,800万円、  
PMI費用6,800万円、  
会計基準差異調整4,300万円となります。

四半期毎の営業利益は、第1四半期マイナス2億2,900万円から始まり、  
第4四半期にプラス3億9,500万円と下半期に偏重する見込みです。

続きまして、中期経営計画についてご説明いたします。

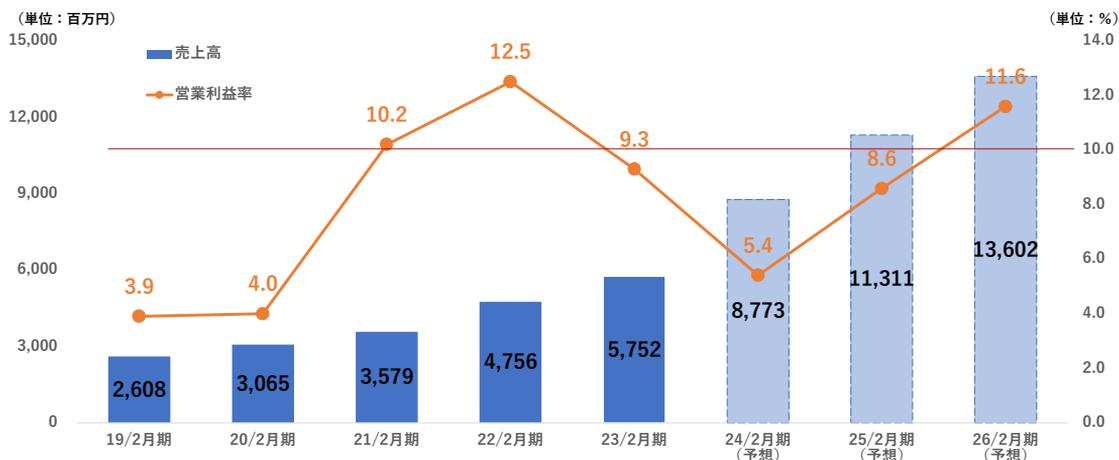
## 中期(2024年2月期～2026年2月期)経営計画 (連結)

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

- 24/2月期は大幅な増収(過去最高)を予想しております。  
今期の営業利益率はM&A関連費用により低下しますが、26/2期には10%超を計画しております。



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

25

これまで中期経営計画を開示しておりませんでした。ライコル社買収を反映した3か年の中期経営計画をお示しすることが、株主様と投資家の皆様にとって有益と考えました。

2024年2月期は大幅な増収、過去最高売上高を予想しております。

営業利益率はM&A関連費用により低下しますが、2026年2月期には10%超を計画しております。

## 【半導体】売上高予想（連結）

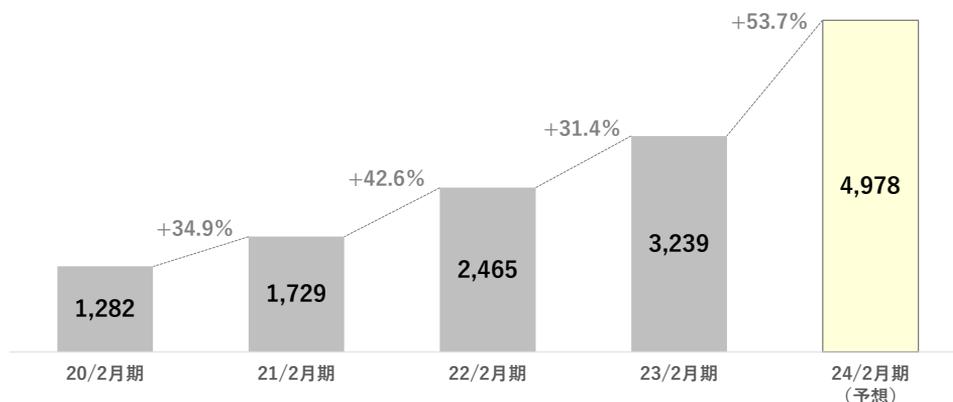
OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 第4工場稼働により生産能力の増強に加え、前期からの繰越分が寄与し、売上高+53.7%を見込んでおります。

（単位：百万円）



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

26

続きまして、各事業別の売上予想について説明いたします。

半導体事業におきましては、第4工場稼働により生産能力が増強されます。引き続き堅調な新規レーザと増加するメンテナンスの需要にも対応が可能となります。さらに、前期繰越分も寄与し、前期比プラス53.7%の49億7,800万円の売上高を予想しております。

## 【ヘルスケア】売上高予想（連結）

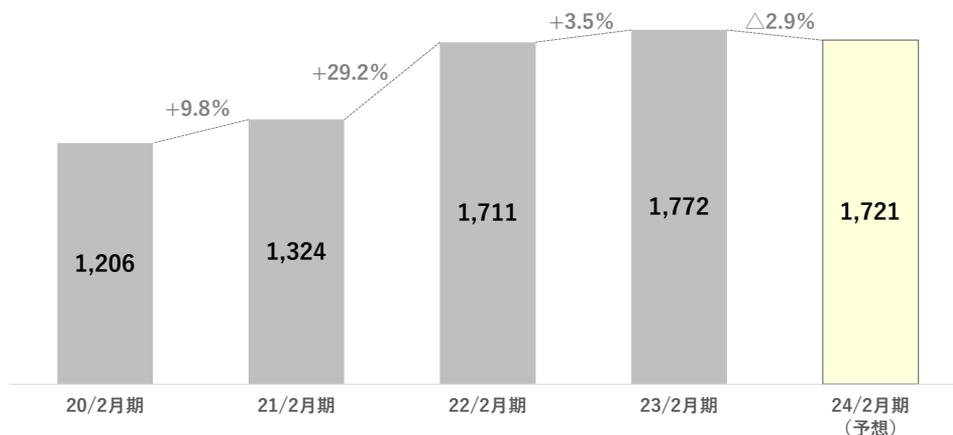
OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 米国景気減速等でがん診断PET用は20%減収見込みです。一方、認知症診断PET用の増加により全体で微減収予想です。

（単位：百万円）



ヘルスケア事業におきましては世界的な景気減速の影響を受け、がん診断PET用は20%減収を見込んでおります。一方で、認知症診断PET用は増加傾向にあり、全体で売上高は前期比マイナス2.9%の17億2,100万円を予想しております。

## 【新領域】売上高予想（連結）

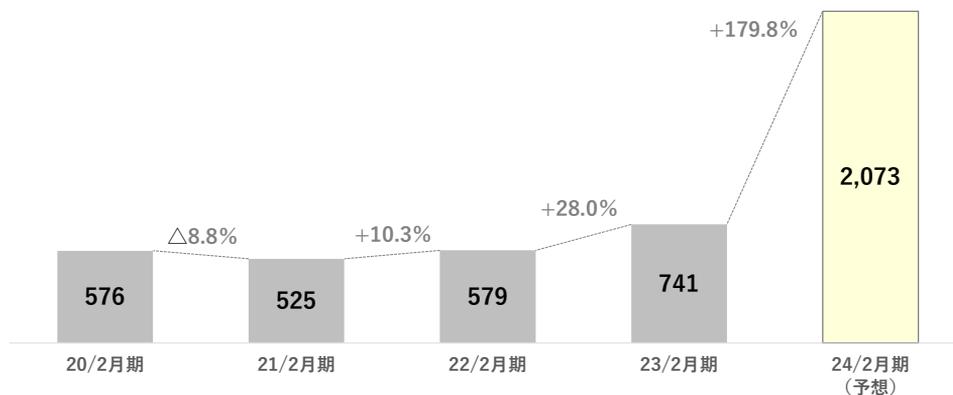
OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ Raicol社の子会社化により24/2月期の売上高は+179.8%増加します。

（単位：百万円）



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

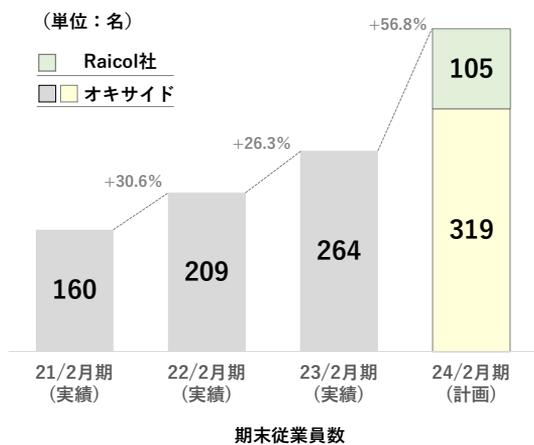
28

「光計測・新領域事業」につきましては、計測以外の応用分野もふえてきたことから、今期より「新領域事業」に名称を変更いたしました。

新領域事業におきましては、前期比プラス179.8%の20億7,300万円を予想しております。ライコル社の子会社化により今期は大幅に売上高が増加する見込みです。

## その他の計画【人員】（連結）

■ 65名の増員を計画しております。半導体事業の人員を増強してまいります。



人員計画につきましては、65名の増員を計画しております。主に半導体事業の人員を増強する予定です。

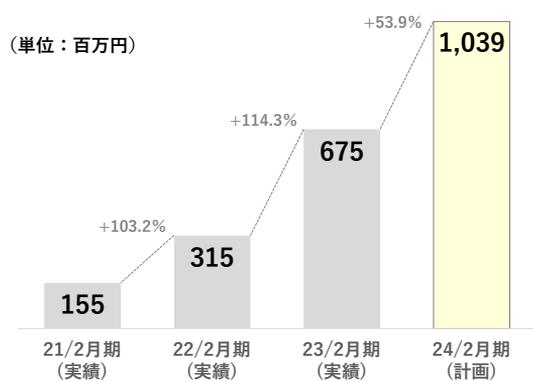
## その他の計画【研究開発費】(連結)

OXIDE

2023年2月期 決算

2024年2月期 予想

■ 24/2月期は10億3,900万円の研究開発費を計画しております。

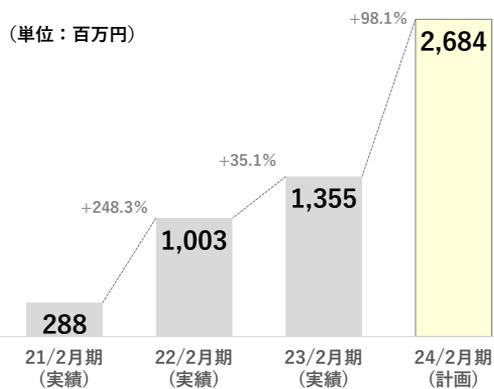


今期は10億3,900万円の研究開発費を計画しております。

2023年2月期に引き続き、パワー半導体を中心に開発を加速してまいります。

## その他の計画【設備投資費】(連結)

■ 24/2月期は26億8,400万円の設備投資費を計画しております。



設備投資費につきましては、26億8,400万円を計画しております。

主に第4 および第5 工場の量産設備に投入いたします。



# **OXIDE**

<https://www.opt-oxide.com>

半導体

医療

パワー  
半導体

# 結晶と光で社会に貢献する Crystal Miracles by OXIDE

ディスプレイ

自動運転

5G